

1 Prolog インストール方法

自分の PC に Prolog をインストールする方法 .

<http://www.swi-prolog.org> から Download で SWI-Prolog を選択 . 続いて Stable release を選択し , Binaries の中から自分の PC 環境にあったものを選択 . Windows マシンの場合は SWI-Prolog 8.4.2-1 for Microsoft Windows(64bit) (version は 2022/3/4 現在のものだが多少異なっても問題ない)

作業用のフォルダを (たとえば Prolog という名前で) 自分のドキュメントの下に作成し , そこで作業する .

日本語コードがあわず文字化けする可能性があるので , 原則としてプログラムの中身やディレクトリ名は ASCII code のみを使うのが望ましい .

[“Illegal multibyte sequence” という警告が出る場合] エディタの文字コードが原因で日本語コメントがひっかかっている . 解決策は以下のいずれか .

1. エディタの文字コードを sjis に変更する さくらエディタの場合は 設定 文字コード指定 SJIS
2. プログラムの冒頭に次の一文をいれる :-encoding(utf8).
3. 日本語コメントをはずすか ascii code のみで記述する .

2 Prolog プログラムの作成と実行

表記

C-x Ctrl キーを押しながら x キーを押す

<CR> Enter キーを押す

1. Prolog は大文字小文字を区別する .
2. 原則として演習ではファイル名やプログラム中の述語名や定数などはすべて ASCII code とし , 日本語は使わない .
3. ソースプログラム (例 : foo.pl) の作成 (ファイル名は小文字でスタートし , ハイフンなどは使用しない . 拡張子は pl)
4. Prolog の起動およびソースプログラムのロード (foo.pl をダブルクリックまたはソースプログラムを SWI-Prolog のアイコンに drag & drop , 拡張子が別のアプリケーションにひもづけされているとダブルクリックでは Prolog は起動しないので注意 .)
5. (特にやる必要はないが) 現在ロードされている述語の表示 (?- listing(predicateName).<CR>).

6. ゴールの実行 (?- mygoal.<CR>)
最後のピリオドを忘れないように .
7. Prolog の終了 (?- halt.<CR>)

インタプリタとコンパイラ

Prolog では一般に、プログラム開発時はインタプリタによってプログラムを実行する。完成したらコンパイルすることにより、プログラムの最適化によって高速実行が可能になる。演習は基本的にインタプリタで行うが、時間があればコンパイルも行う予定である。

デバッグについて

実行のステップごとのトレース

?- trace,goal.<CR>

割り込み - 実行中に停止しなくなった場合に数回実行するとよい

C-c

その他よく使う命令

a (abort) デバッグの中断

w (write) 省略された部分を完全に表示

s (skip) それ以下の実行の表示をスキップ

3 実習環境

- 学校での自習: 5号館実験室, 4号館 4階のすべての演習室のコンピュータには Prolog がインストールされている。
- 家での自習: SWI-prolog は <http://www.swi-prolog.org> からフリーで入手可能。

教科書・参考文献

- 「Prolog への入門」 I.Bratko 著, 安部憲広 訳, 近代科学社, 1990 年 (教科書)。
- 「AI プログラミング」 I.Bratko 著, 安部憲広 訳, 近代科学社, 1996 年。
- 「PROLOG 入門」 後藤 滋樹 著, サイエンス社, 1984 年。
- 「知識処理論」 萩野 達也 著, 産業図書, 1996 年。
- 「Prolog の技芸」 L.Sterling and E.Shapiro 著, 松田利夫 訳, 共立出版, 1988 年 (絶版)。
- 「論理による問題の解法 - Prolog 入門 -」 R.Kowalski 著, 浦 昭二 監修, 山田 眞一 他 訳, 培風館, 1987 年。